

提 言 書

私たち日向市議会は、「議会と市民との意見交換会」における市民の声を集約して、政策討論会において検討した結果、喫緊の課題として、「日向市立東郷病院の今後の在り方」及び「日向市総合体育館整備」について取り組むこととしました。これらの問題を検討するにあたっては、さらに多くの市民の声を聞く必要があるとの認識からアンケート調査を行うこととし、旧東郷町域2ヶ所、旧日向市域5ヶ所の計7ヶ所で行ってまいりました。

その結果、日向市立東郷病院に関するアンケートについては772人、日向市総合体育館に関するアンケートについては703人の回答を得ることができました。その分析結果は、次のとおりです。

まず、日向市立東郷病院に関しては、東郷病院を利用していた人が、医師の退職に伴う医師不足や入院の休止等によって他の病院等に転院していること、東郷地域の住民にとっては東郷病院が「命の砦」であり、災害時の拠点病院と受け止めていること、今後の東郷病院のあり方については、病院として存続させることを強く望んでいること及び病院を先に建替え、医療設備を充実させることが医師の招聘につながると考えているという実態が明らかになっています。

次に、日向市総合体育館整備に関しては、高齢者の回答が多い傾向がみられましたが、体育センターを利用している人が少なく建替えの検討がなされていることを知らない人が多かったこと、日向市総合体育館の建設については、規模の縮小を含め半数以上の市民が賛成であることが明らかになりました。また、建設場所としては大王谷運動公園のプール・芝生広場を廃止して建設することに6割以上の市民が賛成しているという結果が出ました。その一方で、大王谷運動公園内に建設すべきであるとする人よりも、現在ある施設（日向市体育センター、サンドーム日向等）に付加価値を高める改修等を行うべきであるとの意見が上回り、最多であったという結果も出ています。

これらの市民の声を受け、政策討論会において全議員で議論を行った結果、下記のとおり提言いたします。

1 日向市立東郷病院の今後の在り方について

- (1) 人口減少、高齢化の進展の中、持続可能な医療機関として医療収支改善に努め、市民負担となる一般会計からの繰入額の早期減殺を図られるとともに、市民に丁寧の説明すること。
- (2) 医療施設の整備、医療機器の充実にあたっては、市民の声や財政状況を勘案し、早急に検討すること。
- (3) 医療体制を確立するため、医師確保に向けて不断の努力を怠らないこと。
- (4) 交通弱者の通院等を考慮し対策を講じること。

2 日向市総合体育館整備について

- (1) 現在ある施設（日向市体育センター、サンドーム日向等）について、リノベーションを行うべきであるとの市民の声が多数あることから、市民への説明責任を果たすこと。
- (2) 大王谷運動公園への日向市総合体育館建設にあたっては、市民に対して建設費用や維持費等、財政コストを明らかにし、併せて建設規模や場所についても再考すること。
- (3) 病院や図書館などの整備についても要望があることから、優先順位について市民の声に耳を傾けること。

令和2年4月9日

日 向 市 議 会